

各位

平成 27 年 12 月 7 日
福岡市博物館

平成 27 年 12 月 11 日 (金) 14:30～ トークセッション 「博多湾の歴史と都市の哲学」を、 福岡市博物館にて開催します。

ぜひ、ご来場いただきますよう、お願い申し上げます。

開催概要

- (1) 名 称：トークセッション「博多湾の歴史と都市の哲学」
- (2) 日 時：平成 27 年 12 月 11 日 (金) 14:30～
- (3) 会 場：福岡市博物館 (〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1) 講堂 (1F)

事前申込み不要

- (4) プログラム：

| | |
|-------|--|
| 第 1 部 | 博多湾岸の図像学 ～歴史資料に見る福岡の湾岸戦略～ |
| ① | 「博多湾の江戸時代」 講師 又野 誠 (福岡市博物館学芸係長) |
| ② | 「昭和前期の観光鳥瞰図を絵解きする」 講師 有馬 学 (福岡市博物館長) |
| 第 2 部 | シーサイドももちに見る福岡のまちづくり戦略 講師 上瀧 今佐美 (福岡市 住宅都市局大学移転対策部長) |
| 第 3 部 | 対談 上瀧 今佐美 × 有馬 学 |

- (5) 趣 旨：海とタワーとドーム球場—シーサイドももちの光景は、いまや福岡の「かお」といっても過言ではありません。しかし、30 年前、この地に福岡市博物館が建つという見通しが明らかになった頃は、埋立てが完了したばかりの何も無い土地でした。福岡市が、自らの目指す姿を「海に開かれたアジアの交流拠点都市」と定め、海に拓いたまち、シーサイドももち。そのまちが活力あるエリアに成長していくなかで、2000 年以上続く都市の歴史を紡ぎつづけてきた博物館。その 25 周年を記念し、まちづくりの現場と歴史研究の現場によるトークセッションを行います。異色のセッションが、福岡ならではの「まちづくりの歴史／まちづくりと歴史」を明らかにします。

- (6) 背 景：このシンポジウムは、「博多湾岸《金印ロード》プロジェクト」の一環です。プロジェクトは、福岡市博物館が、金印発見の地・志賀島&金印のあるまち・シーサイドももちの2つの地域コミュニティとともに、さまざまな人と力をあわせ、博多湾岸の歴史資源の魅力を発掘・発信していくことを目的としています。国（文化庁）の「平成 27 年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」採択事業です。

■お問い合わせ先

福岡市博物館 管理課 岩佐、古藤
電話 092-845-5011 FAX 845-5019



まちとともに歩むミュージアム
福岡市博物館は開館 25 周年